

子ども・子育てを応援!

せんだい子育てインフォメーション

子育てが楽しくなる情報や、お役立ち情報などを紹介します



第8回 仙台子ども財団の取り組みを紹介します

昨年11月に市の外郭団体として発足した仙台子ども財団では、「まち全体が子ども・子育て家庭にあたたかく、すべての子どもたちが健やかに育つ社会」を目指した取り組みを進めています。

子どもたちの提案を一緒に実現する! 「子ども・若者会議」

子ども・若者会議は、「子どもが安心して自分の意見を言える場所」「子どもたちの意見を尊重する場所」です。第1期生は、公募により集まった20人の小・中学生、高校生。お互いに認め合い、協力しながら「みんなが幸せなまち」の実現に向けて活動しています。

こんなことを学び、活動しています

- ◆子ども基本法を知り、子どもにも権利があることや、自分の意見を相手に伝えること・自分や相手を認めることの大切さを学んでいます
- ◆「みんなが幸せなまち」の実現に向けて、自分たちで考え、意見を出し合っています
- ◆子どもたちが提案した、ごみ拾いや芋煮会を実施したほか、お祭りの企画・開催に向けて準備を進めています



▲会議は全8回。回を重ねるごとに積極的に意見が出されるようになりました

子どもたちの感想



年齢が離れている人と話すことができて面白い!

メンバーがみんな優しくして毎回楽しいです。



前よりも自分の意見を積極的に言うようになったと思う。

仙台を幸せなまちにできるようにがんばりたいです。



育休を取得しやすい環境に! 「男性育休取得チャレンジ企業創出事業」

男性従業員が育児休業を取得しやすい職場環境づくりに意欲的な市内中小企業4社をモデル企業に選定。社会保険労務士を派遣し、社内規定整備のほか、国や自治体のさまざまな支援制度の活用に関する助言を通じ、働きやすい職場環境づくりを支援しています。



▲モデル企業への社会保険労務士の派遣

シンポジウム開催情報

子育て支援団体同士の連携・協働、「世代を超えた交流・居場所づくり」の促進に向け、支援団体等の事例紹介やワークショップを行います。

- 日時—12月21日(土)14:00~16:30 ●会場—仙臺緑彩館 ●対象—子育て支援団体、地域で子育て支援の活動をしているまたは考えている方60人程度 ●申込方法など詳しくは仙台子ども財団ホームページをご覧ください

☎仙台子ども財団 ☎302・5275、FAX302・5276

あなたのアクションが地球を救う

今日から脱炭素生活

⑥食品ロス削減で地球温暖化対策!

Q なぜ食品ロスを減らすことが脱炭素につながるの?

A 食品ロスは食料資源が有効に活用されないだけでなく、生ごみとして焼却される際に二酸化炭素を排出します。仙台市の家庭ごみ量の中で生ごみは約3割を占めているため、食品ロスを減らすことはとても大切です。

Q 食品ロスを減らす身近な取り組みは?

A 消費期限の迫る食品等をお得に購入できる「ワケルくんもったいないマルシェ」を利用し、食品ロス削減につなげましょう。ウェブサイトに出品された商品を予約するとお店で受け取れます。詳しくは市ホームページをご覧ください。

地球温暖化を防ぐためには、市民一人一人の理解と行動が必要です。脱炭素に関する疑問にお答えし、私たちが生活の中でできる取り組みについてご紹介します。

今月のアクション

家庭内の食品ロス削減には、冷蔵庫の上手な整理・管理がポイントとなります。

まずは、定番食材、使いかけの食材など冷蔵庫の中にそれぞれ住所(置き場所)を決めましょう。さらに棚板やドアポケットにラベルを貼ることで、食材の場所が分かりやすくなり、重複買いなどを防ぐことができますよ。

☎家庭ごみ減量課 ☎214・8229、FAX214・8277